

# 根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画【第9版】

計画期間： 2020年4月～2022年3月

－ 感染拡大を防止し早期収束と市民生活の不安に対応するために必要なこと －  
第一は「感染拡大防止策」の充実、第二は「経済活動回復」の支援

## 【道内における最近の感染状況等】

2021年2月26日開催／北海道新型コロナウイルス感染症対策本部会議資料より抜粋

- 道内の新規感染者数は減少が続き2月25日現在で10万人当たり5.9人/週となった。感染経路不明の割合や陽性率も低い水準で推移。感染経路不明の数自体に大きな上昇はみられないが引き続き注視が必要。
- 入院患者数や重症者数等は緩やかな減少傾向が続いている。一方、医療提供体制への負荷が長期にわたりかかり続けており、引き続き負荷の軽減に努めていく必要がある。
- 今後の対策として、3月以降、就職・転勤、卒業・進学等に伴う人の移動や会食機会の増加による感染の再拡大に備えるとともに、安心してワクチン接種を受けられる環境づくりが必要。

## 緊急経済対策展開計画【全体】

〔 2021年3月現在 〕

- 計画期間 2020年4月～2022年3月（2か年）
- 予算規模 約43.8億円 

市単独事業	約13.1億円
補助事業	約30.7億円

（感染拡大防止/フェーズ1：約32.8億円、経済活動回復/フェーズ2：約11.0億円）
- ✓ うち国・道の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に係る補助金」等の活用見込み額 約29.8億円
- ✓ うち国の「地方創生臨時交付金」の活用見込み額 約9.1億円（対交付限度額比 100.0%）
- ✓ うち市の「新型コロナウイルス感染症対策基金」の活用見込み額 約3.8億円（対基金受入額比 94.5%）
- ✓ うち市の「ふるさと応援関連基金」・「財政調整基金」等の活用見込み額 約1.1億円
- 今後の取組(対策)に向けて留保した財源等 約0.3億円

注1) 市の「新型コロナウイルス感染症対策指定寄附金」の受入れ実績は、2021年3月1日現在、金額で407,530,802円、支援人数で25,576人。



# 感染拡大防止／フェーズ 1

● 集中期間 2020年4月～

● 予算規模 約**32.8**億円 (市単独事業 約3.7億円  
補助事業 約29.1億円)  
注) 病院事業会計を一部含む。

## 【第1弾】

### ✓ 保健・医療・福祉提供体制の整備等

- ・【拡充】 出稼ぎ者・帰省者等に対するPCR検査費等の一部助成、並びに抗原検査キットの配布
- ・【拡充】 国の制度に基づき感染患者等の対応を行う医療従事者等に対する支援
- ・医療、福祉施設等における集団感染の未然防止のための施設従事者へのPCR検査の実施
- ・サージカルマスク、消毒用エタノール、防護服等の配布・配備・備蓄
- ・人工呼吸器、滅菌用噴霧器、空気洗浄機器等の整備・設置
- ・妊産婦、内部障がい者、医療機関等へのマスク提供
- ・医療機関における感染リスク低減のためのフェイスシールド等の提供
- ・幼稚園・保育所など児童福祉施設等における感染症対応力の底上げのための衛生用品等の配備・支援
- ・季節性インフルエンザとの同時流行に備え、医療提供体制を維持するためのインフルエンザ予防接種費用助成対象の拡大
- ・市立根室病院における人工呼吸器の追加整備など体制強化や、呼び出しシステム導入、オンライン医療研修用PC機材等の整備ほか

R.2.4補正予算／約0.4億円

R.2.7補正予算／約0.2億円

R.2.9補正予算／約0.3億円

R.2.12補正予算／約0.1億円

R.3.1補正予算／約0.4億円

R.3.3補正予算／約0.4億円

R.2.9補正予算/病院事業会計／約0.4億円

R.3.3補正予算/病院事業会計/0.5億円

## 【第2弾】

### ✓ 市民生活維持の支援等

- ・【拡充】 感染症り患者及び濃厚接触者となる家族等に対する生活必需品等の配布
- ・国の特別定額給付金の早期交付への対応
- ・飲食業等を支援するための家賃等助成金の交付、上下水道料金の減免
- ・新生児に対する市独自の特別定額給付金の給付拡充
- ・生活資金の貸付、市税の納税猶予、国保税の減免への対応
- ・生活困窮世帯に対する支援物資の臨時提供ほか

R.2.4補正予算／約0.3億円

R.2.5補正予算／約25.5億円

R.2.7補正予算／約0.2億円

R.2.9補正予算／▲約0.01億円

R.2.12補正予算／▲約0.17億円

## 【第3弾】

R2.5補正予算／約2.6億円

R2.7補正予算／約0.4億円

R2.9補正予算／▲約0.7億円

R2.12補正予算／約0.2億円

### ✓ 事業継続・雇用維持の支援等 （緊急事態宣言の延長に伴う市独自の追加施策）

- ・中小、小規模事業者の事業継続等を支援するための助成金の交付
- ・国の子育て世帯臨時特別給付金の早期交付への対応
- ・育児と仕事を一手に担う「ひとり親家庭」への緊急的な生活支援金の給付
- ・国のひとり親世帯臨時特別給付金の給付・再給付
- ・商店街等における事業継続等を支援するための街路施設維持費の補助拡充ほか
- ・公共交通、宿泊施設における感染リスク低減の取組に対する費用助成
- ・保護者の経済的負担軽減のため学校給食費の一部徴収免除等
- ・市役所におけるテレワーク導入、ITを活用した保健指導の実施
- ・ITを活用した介護予防支援や福祉交流の促進、児童デイサービスの実施

## 【第4弾】

R3.1補正予算／約0.17億円

R3.3補正予算／約1.65億円

### ✓ 新型コロナウイルスワクチン接種の体制構築と迅速な実施

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について、速やかに接種開始が可能となるよう、接種の優先順位等を踏まえ、国の指示のもと北海道等と連携して、根室市において予防接種を実施する。

- ・予防接種法の改正に基づく、迅速かつ適切な新型コロナウイルスワクチン接種の実施に必要な対応ほか  
（人員体制の整備、システム改修、接種券等の印刷、医療機関と調整・契約、接種会場の準備、超低温冷凍庫の配備、相談体制の確保など）

注）財源は、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に係る補助金（約29.1億円）、国の地方創生臨時交付金（単独事業分/約2.0億円）、市財政調整基金（約0.3億円）、市ふるさと応援関連基金（約0.7億円）、市ふるさと応援・新型コロナウイルス感染症対策基金（約0.6億円）、指定寄附金（約0.1億円）等を見込む。

● 集中期間 2020年6月～2022年3月 (1年10か月)

● 予算規模 約11.0億円 (市単独事業 約9.3億円 補助事業 約1.7億円)

## 【第1弾】

R 2.6補正予算／約2.3億円

R 2.7補正予算／約0.4億円

### ✓ 経済活動回復に向けた支援等 (消費喚起・利用客の回復に向けた緊急支援等)

- ・域内消費喚起のためのプレミアム付き商品券の発行、並びに飲食店利用客等の回復支援のためのクーポン券の発行
- ・路線バス、タクシー利用客等の回復支援のための前払い式プレミアム付き乗車券発行の取組みに対する補助
- ・“新しい生活様式”への対応や集客回復等に資する販売促進、地場水産物の消費回復等の取組に対する費用の助成
- ・国のGoToキャンペーン等と連動した宿泊需要の回復支援と土産品等の販売促進を図るための宿泊者向けの「市内商店共通クーポン券」の発行
- ・飲食店等に対するパーテーションや安全・安心宣言ステッカーの配布などを通じた感染予防対策と利用客等の回復支援ほか

## 【第2弾】

R 2.6補正予算／約1.3億円

R 2.7補正予算／約3.0億円

R 2.9補正予算／約0.02億円

### ✓ 長期化への備えと社会変容への対応等

R 3.3補正予算／約0.13億円

#### ① 新型コロナ感染症等に対応した災害対応とソーシャルワーカーの安全確保

- ・新型コロナ感染症対策に配慮した新たな災害対応のための備蓄用防災コンテナ15基(テントやパーテーション、高床段ボールベット、マスク、消毒液等)の配備
- ・聴覚障がい者に対してコロナ禍における発災の迅速かつ正確な情報伝達手段を確保するための文字表示型デジタル防災行政無線ユーザー別受信機の貸与
- ・医療、介護従事者等の安全確保のための施設支援金の給付 ・幼児教育、保育従事者等の安全確保のための施設支援金の給付ほか

#### ② 3密対策など公共施設等における環境整備とソーシャルディスタンスの確保

- ・小・中学校等における3密対策などの感染拡大予防のためのパーテーション等整備、マスク購入のほか、修学旅行時における感染対策費の支援等
- ・図書館閲覧室におけるソーシャルディスタンスの確保のためのパーテーションを設置するとともにリモート学習に対応するWiFi環境の整備強化
- ・歴史と自然の資料館における換気機能の強化、スリッパ用除菌ディスペンサーの配備 ・学校給食共同調理場の冷房設備の整備ほか

#### ③ 臨時休業への備えと“GIGAスクール構想”の加速化等によるオンライン学習環境の早期整備

- ・小・中学校等児童生徒1人1台PCなど“GIGAスクール構想”の推進によるオンライン学習環境(適応指導教室等を含む)の早期整備
- ・小・中学校等におけるGIGAスクールサポーターの配置、管理用タブレット機器などの整備のほか、指導用デジタル教科書等の購入費用として学校配当の措置
- ・高等学校におけるオンライン学習や家庭学習のための生徒1人1台PCの保有支援、並びに指導用デジタル資機材などの整備に対する支援
- ・地域の人材と素材を活かしたオンライン学習支援コンテンツ開発のためのPC・ビデオカメラ機器、編集ソフトなどの配備

#### ④ “新たな生活様式”に沿った地域の「文化芸術・スポーツ・イベント」等の振興発信

- ・デジタル技術等を活用した「(仮称)最東端ぬむろシーサイドマラソン・オンライン大会」開催費用に対する補助金の交付
- ・市民活動団体や社会教育団体等が行う3密対策など“新たな生活様式”を取り入れた文化芸術・スポーツ・イベント等開催費用の一部に対する補助金の交付
- ・総合文化会館・公民館への体温測定用サーマルカメラの常設配備、並びに青少年センター・温水プール、小・中学校等共用の移動式サーマルカメラの配備ほか

## 【第3弾】

R3.3補正予算 / 約3.9億円

### ✓ 感染症の再拡大に伴う追加的な支援等

#### ① 経済活動回復支援に向けた支援策の延長

- ・域内消費喚起のためのプレミアム付き商品券(影響大の業態を踏まえた飲食店利用限定分を含む)の再発行
- ・飲食店等における経営維持のための臨時的な支援
- ・中小・小規模事業者への支援として、3密対策やキャッシュレス決済など“新しい生活様式”を導入しウイズ・コロナ時代に対応する店舗改修等の取組に対する費用の助成
- ・外国人技能実習生等の受入れ中小・小規模事業者への支援として、実習生等の出入国に際するPCR検査等の負担増に対する費用の一部助成
- ・根室出身学生への魚介類配布など、地場水産物の消費回復等を後押しする取組みの再実施
- ・国や北海道のキャンペーン等と連動した宿泊需要の回復支援と土産品等の販売促進を図るための宿泊者向けの「市内商店共通クーポン券」の再発行ほか

#### ② 新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進

- ・コロナ禍における生産基盤強化と稼働率向上のための製造機器導入など、水産加工業を営む中小企業・個人事業者が行う設備投資に対する費用の一部補助
- ・“新しい旅行スタイル”など、ウイズ・コロナ対応した宿泊型ツアー等の誘致促進を図るための旅行事業者に対する旅行商品造成費(貸切バス代金など)の一部助成ほか

注) 財源は、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に係る補助金(約0.7億円)、国の地方創生臨時交付金(単独事業分/約7.1億円)、市ふるさと応援・新型コロナウイルス感染症対策基金(約3.2億円)、指定寄附金等を見込む。